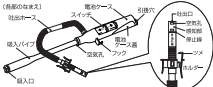


灯油ポンプ TP-N30R

取扱説明書 要保存

このたびは、灯油ポンプTP-N30Rをお買い上げいただき、ありがとうございます。またことによりご説明いたします。ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください。正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。



必ずお守りください

1. 乾電池について

- 必ず新しいアルカリ乾電池をご使用ください。
- 使用推奨期間を確認いただき、使用推奨期間が十分あるものをご使用ください。
- マンガン乾電池はご使用にならないでください。
- 二次電池（充電式電池）はご使用にならないでください。
- 乾電池は気温の低い場所ではパワーが低下し、使用できなくなる場合があります。
- 0℃以下の状態で乾電池を入れたまま保管すると、乾電池の性能を充分に発揮できず動かない場合があります。乾電池は5～40℃の室温で保管してください。
- 乾電池の性能が低下してしまった場合、5℃～40℃の室内で2時間以上放置し、乾電池を温めてください。乾電池内部の温度が温まることで、再度使用できる場合があります。（完全に放電した乾電池は使用できません。）

2. 結油について

- 結油は火の気のない場所で行い、結油中は絶対にポンプの側を濡れないでください。
- 室内など汚れては困る場所では使用しないでください。屋外など灯油がこぼれても良い場所でご使用ください。※誤作動により再始動したりホースが外れるなど、灯油がこぼれタタミや床面、カーペット、畳などに汚す恐れがあります。
- 結油終了後は、必ずスイッチを「切」にし、灯油缶よりポンプを取り出して灯油をよくきり、ポンプ収納ケースまたは、吊り下げなどして保管をしてください。
- 結油終了後は、絶対にポンプを灯油缶に差し込んだままにしないでください。誤作動により再始動する恐れがあります。

準備1 乾電池の入れ方



- 電池ケースを指で軽く押しながら電池ケースを手前側に引き、取り外してください。
- 電池ケース裏の突起に合わせ、電池の正極（+）を指差し、単一乾電池2本を正しく入れてください。
- 電池ケース裏のツメを電池ケースにはめ込み、電池ケース裏をもと通りにしっかり閉めてください。

- 乾電池の誤挿入、その他の故障を防ぐため次のことを必ずお守りください。
- 乾電池は必ず新しいものを使用してください。
- 乾電池を取り替える際は、一度に2本とも取り替えてください。
- 乾電池は必ず本とも同じ銘柄のものを使用してください。
- 長時間（2週間以上）使用しない場合は、必ず乾電池を取り外してください。

準備2 操作方法について

- (図4)のように自動停止（オートストップ）位置を調整することができます。
 - 給油タンク内の液面が停止線までくると給油を自動停止しますが、吐出ホース内に残った灯油がタンク内に流れ込みますのでタンクの形状によっては、溢れる恐れがあるため、その分を常備したホルダー上部をつまみながら上下に動かして感度部を調整してください。
- 吸入パイプを灯油缶に差し込んでください。
- 感度部を上側（カートリッジタンクなどの給油口に差し込んでください。
 - ホルダー上部をつまみながら感度部を調整して感度部が正しく固定されているように調整してください。
 - ホルダーが固定できないタンクはご使用にならないでください。
- スイッチを「入」方向にスライドさせると給油を開始します。
- 停止線の位置まで給油すると自動的に停止し、ブザーが鳴ります。
 - 途中で給油を停止する場合は、スイッチを「切」方向にスライドさせてください。
- 自動停止後は、必ずスイッチを「切」方向にスライドさせ、ポンプが停止していることを確認してください。※本品は自動停止後、スイッチを「切」にするまでブザーが鳴り続ける仕様です。



- ご使用になる前に以下のことを必ず確認してください。
 - 吐出ホースに破損やゆるみがないか確認してください。
 - 使用環境や保管状況によっては、吐出ホースの破損や漏れが発生する場合がありますので、漏れがある場合は確認してください。
 - スイッチが「切」位置にあることを確認してください。
 - 火気の側では絶対に使用しないでください。
- 感度部を給油口にセットする前にスイッチを「入」にするとうポンプが作動し、灯油が溢れます。
- カートリッジタンク（図5）のような形状のものにはご使用になりません。
- （図6）のようなガムマスケットは燃料タンクが本体と一体になったもの及び（図7）のようなタンク内部に突起やフィルターのあるものには使用しないでください。ホルダーがストップのロックに固定できず吐出ホースが外れ、溢れたり自動停止センサーが正常に作動せず、すぐに停止し自動停止しない場合があります。
- 空室貯水しないでください。故障の原因となります。
- 直射日光のある場所や強い紫外線のもとで使用すると自動停止しない場合があります。

使用上のお願ひ

- 給油は、必ず火の気のない安定した場所で行ってください。
- 給油中は、ポンプの側を絶対に濡れないでください。※灯油が溢れ、火災や事故の原因となります。
- 吐出ホース・吸入パイプを強く曲げたり、他のものと強く擦り合わせないでください。
 - ※亀裂や穴がある灯油漏れの原因となります。灯油が漏れた場合は使用しないでください。
- ポンプを落下させたり、強い衝撃を与えないでください。破損や故障の原因となります。
- このポンプは、耐水構造ではありませんので雨や水し濡れがつかないようご注意ください。故障の原因となります。
- フィルター付きカートリッジタンクなどの機種によっては、ご使用にならないものがあります。
- カートリッジタンクなどの給油側口内径22mm以下のもの、灯油缶などの吸入側口内径33mm以下のものにはご使用になりません。
- 通常の使用にもかかわらず動かなくなったり異常がある場合は、事故防止のため使用を中止し、乾電池を取り外していただき、下記までご連絡ください。
- 本体の空気孔を塞がないでください。サイフォン効果により自動停止せず溢れる原因となります。
 - ※まれに空気孔から少量の灯油がでることがありますが、故障ではありません。
- センサーを汚したりつけたり異物が付着した場合、自動停止せず溢れる原因となります。

- 自動停止せず溢れた場合、スイッチを「切」にし、灯油缶よりポンプを抜いてください。
- このポンプは灯油専用です。ガソリン・シンナー・アルコールなどの揮発性の高い液体、腐食性が高い液体、水は絶対に使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- ポンプの分解や改造は絶対にしないでください。故障や異常動作を起こす原因となります。
- お子様だけの給油は絶対にさせないでください。
- 古い灯油は使用しないでください。

保管のしかた

- 毎日使用される場合でも、必ず灯油缶よりポンプを取り出し灯油をよくきり、雨や水に濡れる恐れのあるところ、直射日光の当たるような場所を避けて保管してください。
- 直射日光が当たる場所では保管すると、吐出ホースが劣化し、割れたり穴があく原因となります。
- ポンプは、上下逆さま（電池ケース部分を下向き）にしないでください。ポンプ内に残った灯油が漏れる恐れがあります。
- ポンプの保管は弊社別売りのポンプ収納ケースをお勧めします。

【長期間使用しないとき】

- 長時間（2週間以上）ご使用にならないときは、必ず乾電池を取り外しポンプに残った灯油をよくきり乾いた布で拭き、ビニール袋などに入れ直射日光を避け子供の手の届かないところで保管してください。

故障かな？と思ったとき



仕様	型 式	TP-N30R	購入後の取組や修理などについてお問い合わせは、必ず取扱説明書に記載されているお問い合わせ先へお問い合わせください。その他の不具合については、当社は一切の責任を負いませんので予めご了承ください。
	使 用 乾 電池	単一乾電池（アルカリ乾電池）2本	
	主 材 質	ABS樹脂・ポリプロピレン・ポリエチレン	
	流 量	9.0リットル/分（8.8 2037 流量計取付時による）	
	ポンプ駆動方式	ダイレクトドライブ方式	
	電子制御素子	トランジスタ	
	セ ン サ ー	非接触フォトカプラ	
	使 用 温 度	-5℃ ～ +45℃	
使 用 液 体	灯油（JIS1号灯油）		

必ず取扱説明書に記載されている内容をお守りにならず受け付けず、また、その他の不具合について、当社は一切の責任を負いませんので予めご了承ください。